

## ①研究課題

### 1.小中高一貫したシラバスの検証と改訂。

(新学習指導要領に即して以前に作成したシラバスを改訂していく)

- ・保護者用のシラバスの検証と改訂。
- ・教員用のシラバスの検証と改訂。
- ・児童生徒用のシラバスの検証と改訂。

今後は各教科ごとに検討していく。

### 2.中学校・高等学校における NS（能勢スペシャル）教科の推進。

- ・NS 授業における効果の検証
- ・NS 授業のシラバスの見直し

### 3.学力向上に向けての取り組み

- ・家庭学習のありかたの検討
- ・学習意欲を向上する手立ての検討
- ・全国学力・学習状況調査の分析を踏まえた具体的手立ての検討・実施
- ・「よのなか科」の手法の活用について検討・実施

### 4.授業・指導方法改善の取り組み

- ・授業改善のため授業研究会を開催。
- ・各学校の研究授業の公開

## ②主な取り組み

### 【12年間をつなぐ取り組み（児童・生徒用シラバスの検証）】

すでにシラバスは教員向け、保護者向け、児童・生徒向けが作成されている。今後も引き続き活用し効果を検証していく。ただし、新しい学習指導要領の実施にともない、以下のような計画で改定していくことを教育課程部会で話し合った。

- ・新学習指導要領の内容に即してシラバスを作成し、自主学習・家庭学習の充実をはかる・
- ・平成 22 年度中に教師向け、保護者向けのシラバスの改訂版を作成。
- ・平成 23 年度中に児童・生徒向けのシラバスの改訂版を作成。
- ・より円滑にシラバスの改訂版を作成するために、来年度当初に小中高一貫教育の教科代表者を決め、話し合いを進めていく。

作成したシラバスを全教職員いつでも参考にできるよう、とりまとめ、ファイル化した上で全校に配布できるように準備を進めていく。

町研の組織を活用し、教科代表を決め、夏季休暇中に会議を開き、各教科ごとに話し合いがおこなわれた。

## シラバス改訂版の作成の記録の例

教科名 理科	作成した日 2010年（8）月（4）日	代表 武田 喜弘
出席者 小学校（北澤、高橋、山本、古谷 ） 中学校（武田 ） 高校（天野、上原 ）		
作成の進捗状況。（打ち合わせされた内容もお願いします。） ・各校種ごとに集まって学習指導要領の改訂版をつくる。 ・小中学校の保護者向け、生徒向けのシラバスは完成した。 ・高校のシラバスについては、実際の履修科目が未定なので一応すべての教科内容の一覧表をつくり、決定次第、一覧表に入力する予定。（3月末までには完成の見込み） ・改訂版についてはフロッピーに入れてある。		

### 【NS授業の効果を検証し、改善充実をはかる。新学習指導要領を視野にいれながら。】

- ・NS 授業は中学校3年では選択授業の時間におこなっている。24年度には選択学習の時間がなくなる。そこで、各学校の教科の時間においてTTを中心に入りこむ。その際、1クラスだけでなくどのクラスにも能勢高校教師とのTTの授業が行えるように、TTのクラスを一定期間で交代していくなどの配慮が必要。また、中高合同職員会議等で打ち合わせの時間が大切であるという意見や高校の先生にとって、中学校の学習内容がよくわかり、たいへん参考になったという意見もあった。

### 【積極的に授業公開し、授業改善をはかる。】

- ・公開授業の目的
  - ①地域の人たちがどんな学習を行われているかを、授業を自由に参観していただき、普段の教育活動を理解していただく。
  - ②教員が異校種の授業を見ることによって、自分たちが行っている指導を振り返ったり、子どもたちの成長のようすなどを発見できたりする貴重な機会にしていく。